

主日礼拝

2025年3月30日
午前10時30分

前奏 「愛するイエス、汝、何の罪ゆえに(313番)」
(J.ブラームス)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

主は言われる。
「今こそ、心からわたしに立ち帰れ
断食し、泣き悲しんで。
衣を裂くのではなく
お前たちの心を引き裂け。」
あなたたちの神、主に立ち帰れ。(ヨエル書2:12-13a)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえとち
からはただ主にあれ、とこしえまで。
アーメン。

受難節のリタニー

《受難節第4主日》

司式者：私たちは十字架のあがないを否定し、自分たちの傲慢によって生きていこうとしたことを告白します。これからはもっと、私たちに十字架による赦しを受け入れる信仰を与え、また私たちが人を赦すことのできる愛を与えてください。

会衆：主よ、私たちがあわれみ導いてください。

司式者：イエスさまが敵を赦しながらも、十字架の上で苦しみを受けたことを思いつつ、このろうそくを消します。(消火)

賛美 13-2,5 「みつかいとともに」

All hail the power of Jesus' Name!
詞：Edward Perronet, 1726-1792

CORONATION
曲：Oliver Holden, 1765-1844

2 いのちをささげしあかしびとよ、
5 せかいのひとびとみまえにふし、
ダビデのみ子なる主をあがめよ。
えいこうたたえて主をあがめよ。
1-6 かんむりをささげて主とあがめよ。

2 いのちをささげしあかしびとよ、	5 世界の人々み前に伏し、
ダビデのみ子なる主をあがめよ。	栄光たたえて主をあがめよ。
かんむりをささげて主とあがめよ。	かんむりをささげて主とあがめよ。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ・エレイソン、キリエ・エレイソン、
主よ、あわれみを。主よ、あわれみを。
キリエ・エレイソン。
主よ、あわれみを。

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 マタイによる福音書 17:1~13

新約(新共同訳)P32~P33

1 六日の後、イエスは、ペトロ、それにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。2 イエスの姿が彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。3 見ると、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた。4 ペトロが口をはさんでイエスに言った。「主よ、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。お望みでしたら、わたしがここに仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」5 ペトロがこう話しているうちに、光り輝く雲が彼らを覆った。すると、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」という声が雲の中から聞こえた。6 弟子たちはこれを聞いてひれ伏し、非常に恐れた。7 イエスは近づき、彼らに手を触れて言われた。「起きなさい。恐れることはない。」8 彼らが顔を上げて見ると、イエスのほかにだれもいなかった。9 一同が山を下りるとき、イエスは、「人の子が死者の中から復活するまで、今見たことをだれにも話してはならない」と弟子たちに命じられた。10 彼らはイエスに、「なぜ、律法学者は、まずエリヤが来るはずだと言っているのでしょうか」と尋ねた。11 イエスはお答えになった。「確かにエリヤが来て、すべてを元どおりにする。12 言うておくが、エリヤは既に来たのだ。人々は彼を認めず、好きなようにあしらったのである。人の子も、そのように人々から苦しめられることになる。」13 そのとき、弟子たちは、イエスが洗礼者ヨハネのことを言われたのだと悟った。

賛美 285 「高き山の上」

Caelestis formam gloriae
詞：ラテン語聖歌、15世紀

DEUS TUORUM MILITUM
曲：Antiphoner, 1753

1 たかきやまのうへに主のすがたがわり
2 モーセとエリヤは主と語りあえば
3 かがやくくもわきみこえはとどろく、
4 たたえよ、みわたのここのかみふしぎ。

かみのえいこにひかりとかがやく。
「これこそわたしの愛するひとり子」。
みくにのさかえをのぞみてよこべ。

- 1 高き山の上、主の姿かわり
神の栄光に、光とかがやく。
3 かがやく雲わき、み声はとどろく、
「これこそわたしの愛するひとり子」。
- 2 モーセとエリヤは、主と語りあえば
弟子らは恐れて、ひれふしがめた。
4 たたえよ、み民よ、この神の不思議。
み国の栄えを、望みて喜べ。

説教 「山を下りる、そして十字架へ」

賛美 301 「深い傷と流れる血に」

Deep were his wounds
詞：William Johnson, 1906-1991

MARLEE
曲：Leland B. Sateren, 1913-

1 ふかいきずとながれる血に
2 あなどられて世に捨てられ、
3 わたしたちをつみと死より

あえぎもだえ、主はくるしむ。
せめとはじめに主はたえられ、
すくうために主は死なれた。

そのみきずこそが、つみびとをいやす。
じゅうじかでの勝利し、すくいとなられた。
じゅうじかの主こそとこしえのいのち。

- 1 深い傷と流れる血に
あえぎ悶え、主は苦しむ。
そのみ傷こそが、罪人をいやす。
- 2 あなどられて世に捨てられ、
責めと恥に、主は耐えられ、
十字架で勝利し、救いとなられた。
- 3 わたしたちを罪と死より
救うために、主は死なれた。
十字架の主こそとこしえの命。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「栄えの主イエスの十字架をあおげば(297番)」 (E.ウィットセット)

司式 光成 由樹
説教 向井 希夫牧師
奏楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。